家庭用ミシン

EL115シリーズ

取扱説明書

本書はなくさないように注意し、いつでも手にとってみる事ができるようにして下さい。

brother

はじめに

この度は当社の商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になり、各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。
また、お読みになった後は保証書とともにお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書およびミシン本体に使われている表示や絵文字は製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

⚠ 警告	**この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。**
⚠ 注意	**この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。


特定しない禁止事項


特定しない義務行為


感電の危険があります


分解してはいけません


電源プラグを抜いてください


火災の危険があります


水に濡らしてはいけません


特定しない危険通告


やけどの危険があります

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

⚠ 警告	
	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。 それ以外の電源で使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	以下のようなときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・運転中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意	
	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
	直射日光の当たるところや、ストーブやアイロンなどのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃〜40℃です。 ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意	
	スプレーなどをご使用の部屋では使用にならないでください。 スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。 バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。 ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
	ミシン本体の換気口をふさがないでください。 換気口は、必ず壁から30cm以上離してください。また、換気口に糸くずやほこりをためないようにしてください。 火災の原因となります。
	ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。 万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。 万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。
	ミシン本体の重さは約4.5kgあります。 ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。 腰や膝を痛める原因となります。
	ミシン本体は必ず手掛け部に手を入れて持ち運びをしてください。 他の部分を持つと、こわれたり、すべって落としたりしてケガの原因となります。
	ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品をご使用ください。 他の部品を使うと、ケガ・故障の原因となります。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。 火災・感電およびケガの原因となります。 指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、お近くの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガまたは感電の原因となります。
	ランプを交換をするときは、ガラスの部分が冷えてから行ってください。 やけどの原因となります。

⚠ 注　意	
🛇	ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど動いている部品に手を近づけないでください。 ケガの原因となります。
🛇	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。 針折れの原因となります。
🛇	曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
⚠	万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店、または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⚠	万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
❗	ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。
🛇 ❗	お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう充分ご注意ください。
🛇	針の下に指などを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
❗	上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示にしたがって正しく行ってください。取り扱いを誤りますと、縫製中、糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

●このミシンは日本国内向け、家庭用です。海外では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
職業用としてご使用になられた場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
●仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
●本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本書の内容について万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

目次

布地と糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合	
	ブロード	タフタ	ギャバジン フラノ	ローン	ジョーゼット	ポーラ	デニム	コーデュロイ	ツイード	トリコット	ジャージ					
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	ニット用糸		カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60〜80	60〜80	50〜80	60〜80	60〜80	50〜80	30〜50	50	50			50〜80	50〜80	50〜80	30	30
針太さ	11〜14			9〜11			14〜16			ゴールド針 11〜14		9〜14			16	

※通常は上糸と下糸は同じ糸をご使用ください。

注意



布地と糸と針の組み合わせは、上記の表に従ってください。組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地（デニム等）を細い針（9〜11番）でぬいますと、針が折れたり、曲がったりしてケガをするおそれがあります。また、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわやぬい目がとぶ原因となります。

ぬい方早見表

模様の種類	直線			三重ぬい	裁ち目かがり	ジグザグ三重ぬい	ジグザグ		まつりぬい	裁ち目かがり	ボタン穴かがり		
模様番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	b	ac	d
選択模様													
押え記号	J				G	J			L	J	A		
主な用途	薄地・普通地	普通地・厚地	普通地 ファスナー付け	地ぬい（ぬい目をじょうぶにしたいとき）	たちめかがり	飾りぬい	たちめかがり アップリケ パッチワーク その他		まつりぬい	たちめかがり（のびる布地）	ボタン穴かがり		

※ <L>押え（別売）は、部品コードXA7000-002をご使用ください。
※ ファスナー付けには、<I>押え（別売：部品コードXA8925-002）をご使用ください。

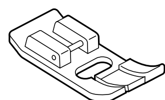
注意

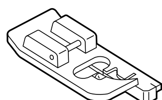


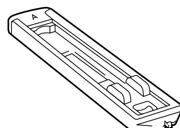
模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

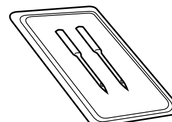
付属品 ●付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

付属品が全部そろっているかお確かめください。
付属品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

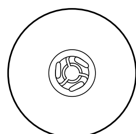

ジグザグ押え<J>

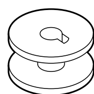

たちめかがり押え<G>
（P.24）


ボタン穴かがり押え<A>
（P.22）

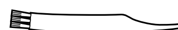

ミシン針

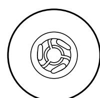
黄　針…＃11　2本
赤　針…＃14　2本
緑　針…＃16　1本

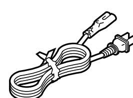

糸こま押え（大）

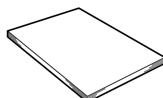

ボビン（3個）

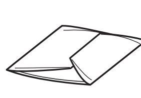

リッパー
（P.23）

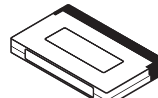

ミシンブラシ
（P.8・P.30）

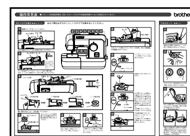

糸こま押え（小）


電源コード（P.5）


取扱説明書


ダストカバー

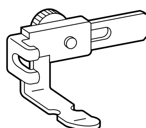

ビデオ

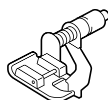


早見表

※ ボビンは必ず専用ボビンをご使用ください。（補給コード：X80309002…5個セット）
※ ジグザグ押え<J>、糸こま押え（小）、ボビン1個は購入時にミシンに取り付けてあります。

別売り

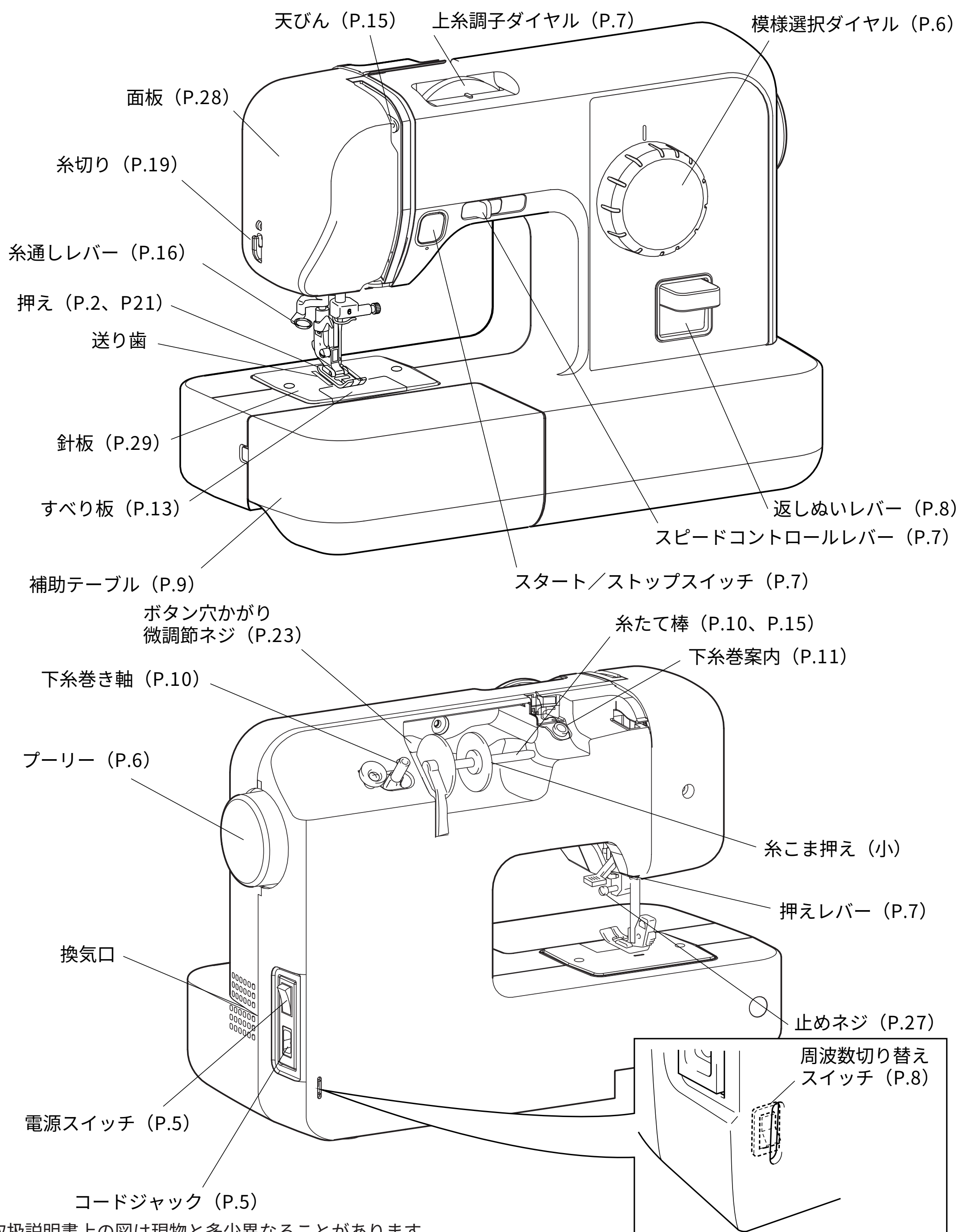

片押え<I>（P.25）
部品コード XC1970-002


まつりぬい押え<L>（P.25）
部品コード XC6654-051

仕様表

項　目	仕　様
本体寸法	幅38.0×高さ26.0×奥行17.7（cm）
製品質量	4.5kg
ぬい速度	毎分220〜500針
使用ミシン針	家庭用ミシン針（HA×1）
定格電圧／消費電力	100V/25W　50/60Hz
ランプ消費電力	100V/6W

各部の名称



※　取扱説明書上の図は現物と多少異なることがあります。
※　糸こまは付属していません。市販の糸こまをお使いください。

ぬう前の知識

■ 電源コード

⚠ 警告





必ず一般家庭用電源AC100Vの電源で使用してください。
それ以外の電源で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

以下のようなときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障のおそれがあります。
- **ミシンのそばを離れるとき**
- **ミシンを使用したあと**
- **運転中に停電したとき**
- **接触不良、断線などで正常に動作しないとき**
- **雷が鳴りはじめたとき**

⚠ 注意





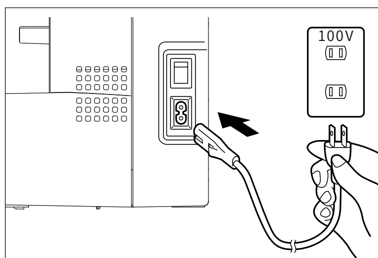
延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。
火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

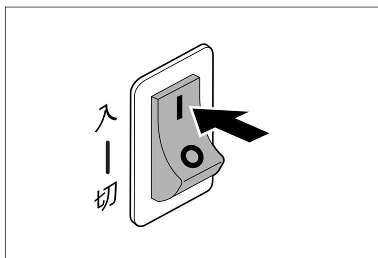
電源プラグを抜くときは、電源スイッチを切って、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードまたは電源プラグが破損したときは、ミシンの使用をやめてお近くの販売店または、「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。

長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となります。



1. 付属のコードを本体右側面のコードジャックに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



2. 電源スイッチを「入」の方に押してください。
電源が入ります。
※ 同時にランプが点灯します。

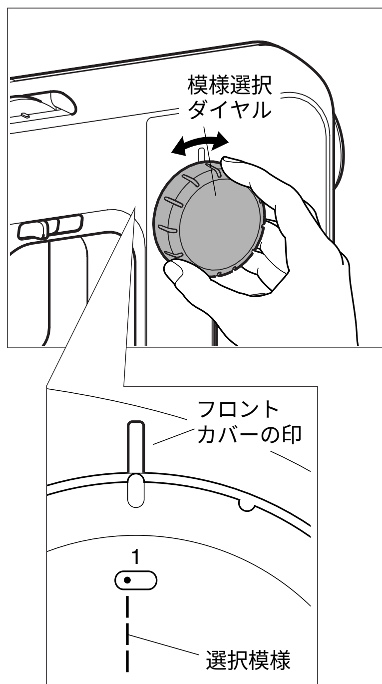
3. 電源を切るときは、電源スイッチを「切」の方に押してください。

■模様選択ダイヤル

⚠ 注意



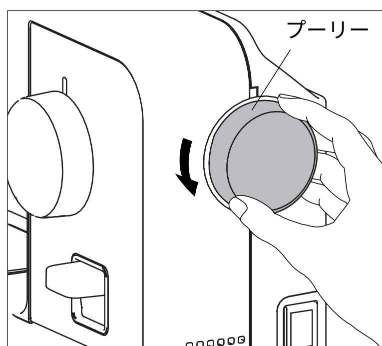
模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回してください。針が布地にささったまま、およびミシンが動いているときに回すと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



模様選択ダイヤルを回して、使用したい模様をフロントカバーの印に合わせてください。
※ 模様選択ダイヤルを回す時は、押えレバーを上げてください。

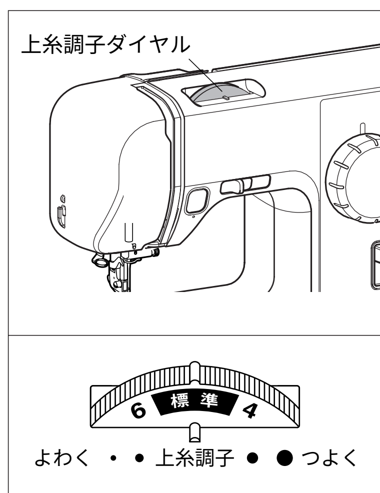
模様番号 →	b	ac	d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
模様		c a											

■ プーリー

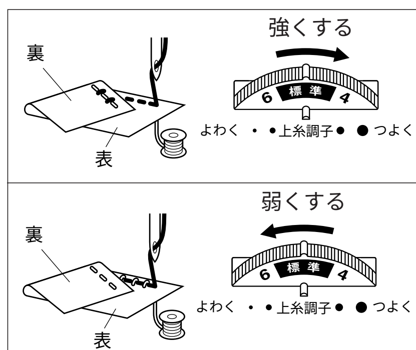


プーリーを回すと、針が上下します。
プーリーは、通常手前側に回してください。

■ 上糸調子ダイヤル



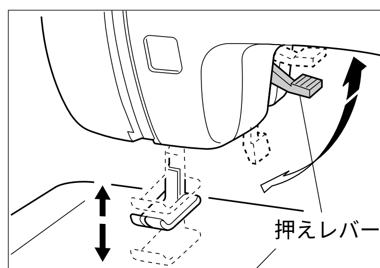
上糸調子ダイヤルの 標準 は、普通地（中厚地）をぬう場合の目安です。
布や糸の種類によって糸調子は変わりますので、実際にお使いになる生地の端切れで試しぬいをして、糸調子を調節してください。（P.21参照）



■ 上糸が弱い場合
上糸と下糸の重なりが下（裏）にできます。上糸調子ダイヤルを右に回します。

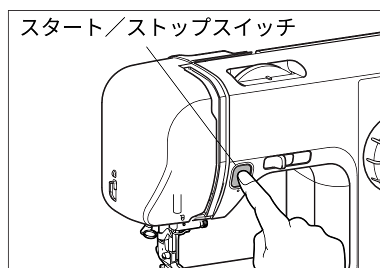
■ 上糸が強い場合
上糸と下糸の重なりが上（表）にできます。上糸調子ダイヤルを左に回します。

■ 押えレバー



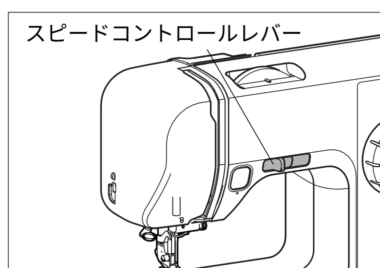
押えレバーを下げると押えが下がり、布地を押さえます。
押えレバーは2段階に上がり、厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。（P.20参照）

■ スタート／ストップスイッチ

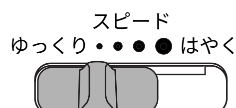


スタート/ストップスイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

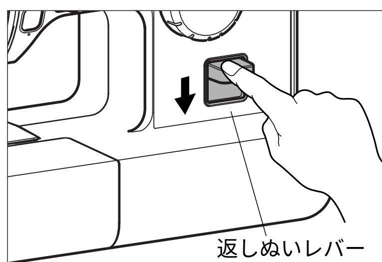
■ スピードコントロールレバー



スピードコントロールレバーをスライドすることによってぬう速さの調節ができます。
※ 初心者の方はミシンになれるまで " ゆっくり " でお使いください。

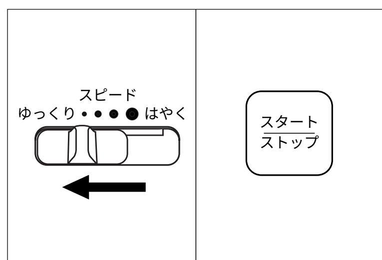


■ 返しぬいレバー



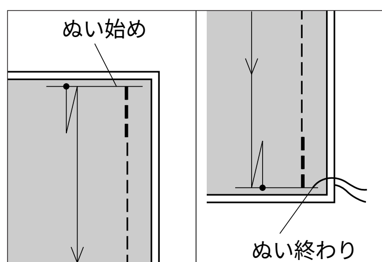
返しぬいレバーを下げている間は返しぬいを行います。
返しぬいは、ぬい始めやぬい終わりでぬい目を補強する場合に使ってください。
※ 返しぬいをするときは、スピードコントロールレバーを " ゆっくり " にしてください。

●返しぬいの仕方



ぬい始めに返しぬいをする場合

1. スピードコントロールレバーを " ゆっくり " にします。
2. スタート／ストップスイッチを押してミシンをスタートします。
3. 3〜5針ぬったら返しぬいレバーを下げ、返しぬいをします。
4. ぬい始めの位置まで返しぬいをしたら、返しぬいレバーから手をはなしてください。再びぬい始めます。



ぬい終わりに返しぬいをする場合

1. ぬい終わりの近くまでぬったら、スピードコントロールレバーを " ゆっくり " にします。
2. ぬい終わりの位置で返しぬいレバーを下げ、返しぬいをします。
3. 3〜5針返しぬいをしたら、返しぬいレバーから手をはなし、スタート／ストップスイッチを押してミシンをストップします。

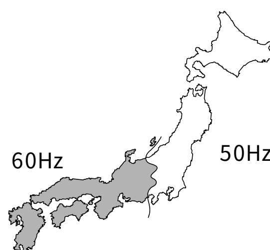
■ 電源周波数の切り替え方法

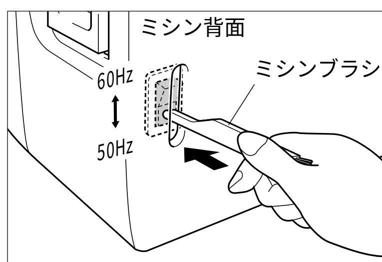
⚠ 注意



必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。

※ このミシンは、出荷時に電源AC100V 50Hz地域用に調整されております。
電源AC100V 60Hz地域にてご使用の際は、電源周波数切り替え方法に従い、電源周波数の切り替えを行ってください。



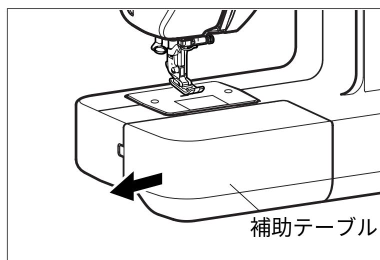


ミシン背面の周波数切り替えスイッチ用のミゾに付属のミシンブラシの柄を図のように差し込み、スイッチを切り替えます。

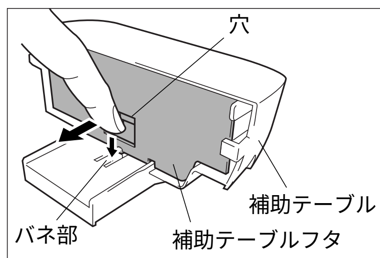
・ 電源AC100V 60Hz用にするときは、60Hz側を押してください。

注意：スイッチを切り替える際、先のとがった金属製のドライバーなどは使用しないでください。故障の原因となります。

■ 補助テーブルの使い方

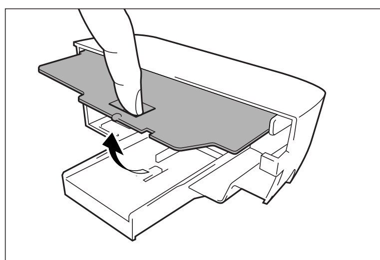


補助テーブルを左へ引いて、ミシン本体から取り外します。

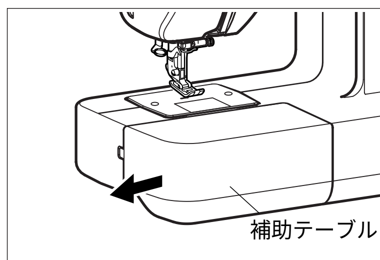


付属品などを収納する場合、補助テーブルフタの穴に指を入れて手前に開いてください。

※閉めるときは、補助テーブルフタがロックされるまで閉めてください。



■ フリーアームにするには



補助テーブルを左に引いて、取り外すと、フリーアームになります。

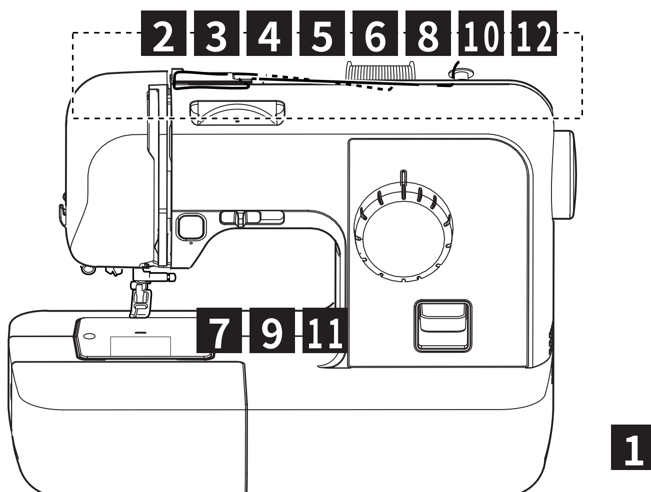
カフス付け、ズボンの裾上げなど筒状になったものをぬうときは、フリーアームにしてぬうと便利です。

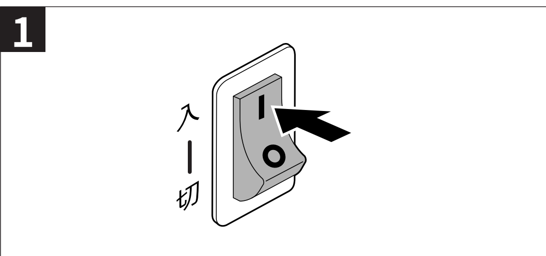
糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き

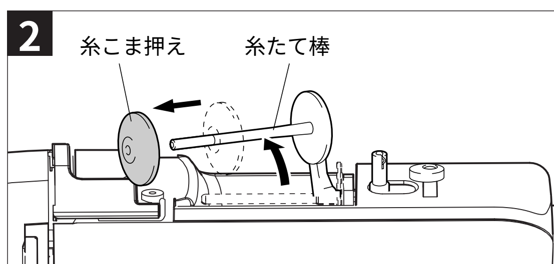
⚠ 注意

**必ず専用ボビン（部品コードX80309-002）をご使用ください。
その他のボビンを使用すると、ケガや故障の原因となります。**



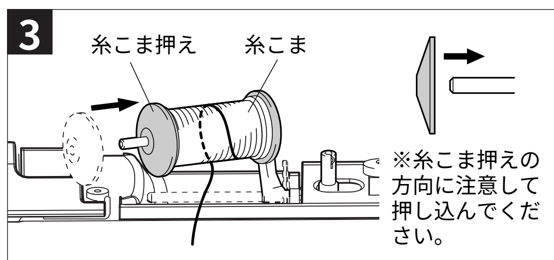


1 電源スイッチを入れてください。



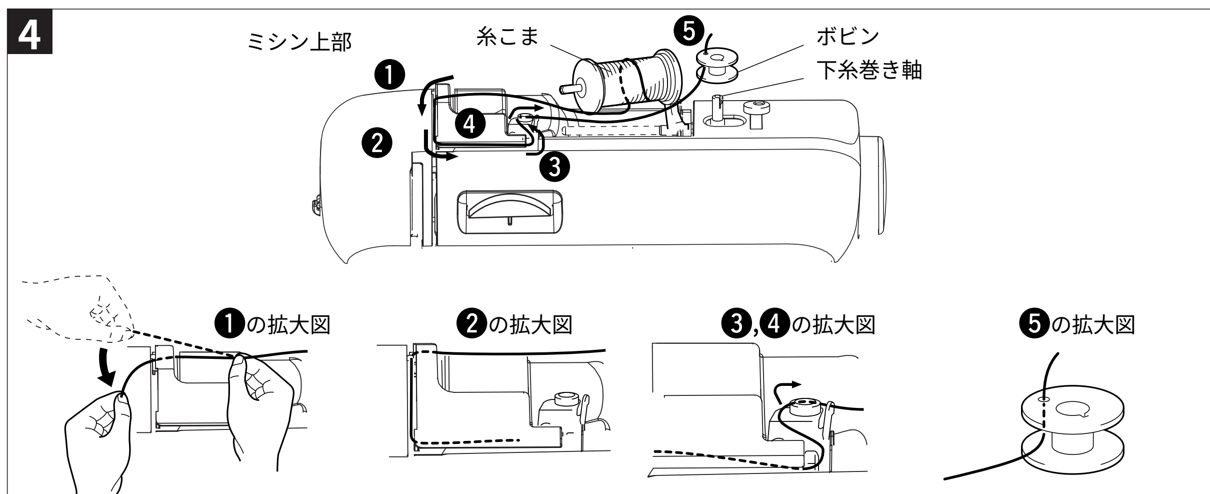
2 糸たて棒を後側に出して、糸こま押えを外してください。

注意：糸たて棒は必ず後側に出した状態で下糸巻きをしてください。倒さずに使用すると糸がからまるおそれがあります。

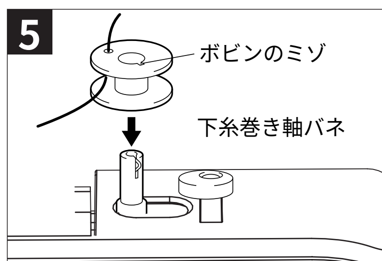


3 糸こまを糸が下から手前にくるように糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までいっぱいに押し込んでください。

注意：糸こまの向き、糸こま押えを正確にセットしないと糸たて棒に糸がからまるおそれがあります。
糸こま押え（大）（小）は糸こまの大きさに合わせてご使用ください。
糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかるおそれがあります。



4 糸こま部の糸を右手で保持しながら左手で糸端を持ち、下糸巻き案内表示（破線）に従い、❶〜❺の順番に従いミゾにそって順序よく糸を通してください。

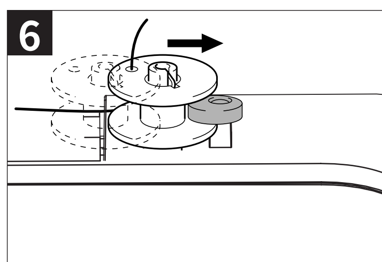


5 内側からボビンの穴に糸を通し、ボビンのミゾと下糸巻き軸バネの位置を合わせて軸の根元まで押し込んでください。

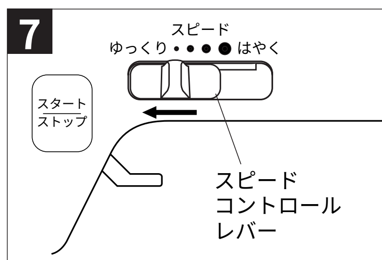
⚠ 注意



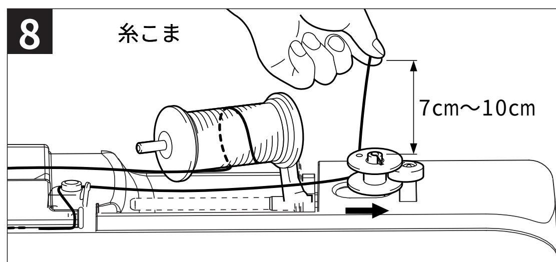
必ず表記の方法で行ってください。糸をボビンの穴に通さずに手で巻きつけてから下糸を巻くと、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



6 ボビンを右（➡方向）にカチッと音がするまで押してください。



7 スピードコントロールレバーを「ゆっくり」（⬅方向）にスライドさせてください。

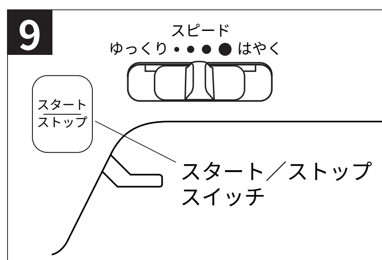


8 糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押し、ボビンを数回転（10回程度）させてください。

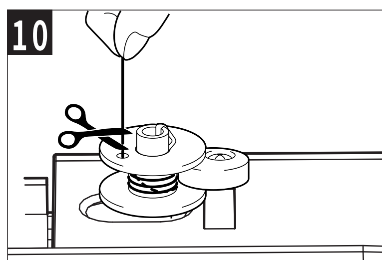
⚠ 注意



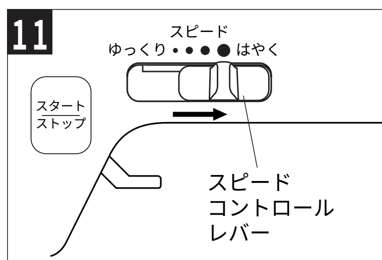
糸は少し長めに引き出し、まっすぐ上に伸ばして持ってください。糸が短かったり、たるんでいたり、斜めに持っていたりすると糸がボビンに巻き込まれ、ケガの原因となります。



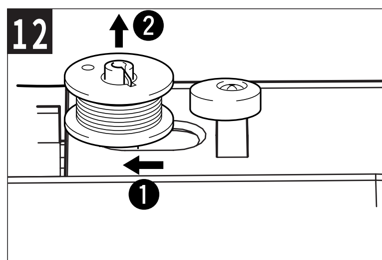
9 スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めてください。



10 糸端をハサミで切ってください。



11 スピードコントロールレバーをスライドさせて、下糸巻きのスピードを決めてください。
再びスタート/ストップスイッチを押して、下糸巻きを行なってください。
下糸巻きが終了したら自動的にボビンの回転は止まります。
ボビンの回転が止まったらスタート/ストップスイッチを押してミシンを止めてください。



12 下糸巻き軸を左に戻し (❶)、ボビンを外してください (❷)。
スピードコントロールレバーを「ゆっくり」の方に戻してください。

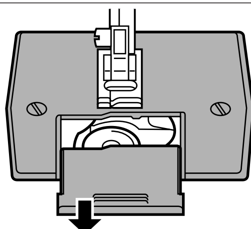
※ 下糸巻きをしたあと、次にミシンを運転するか、またはプーリーを手回しするとき、初めにクラッチのつながる音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

■ 下糸のセット

⚠ 注意

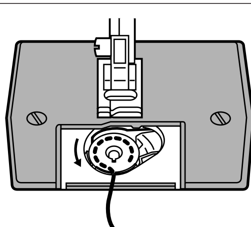
必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。

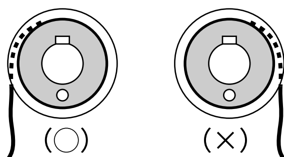
1



1 すべり板を手前（ ⬇ 方向）にスライドさせ、取り外してください。

2





2 矢印の方向から糸が出るように下糸を巻いたボビンをセットします。

⚠ 注意

ボビンは必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆の方向にセットすると針折れや糸調子不良の原因となります。

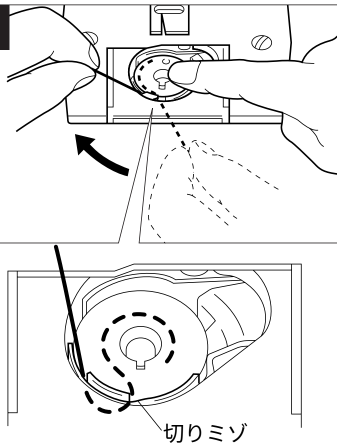
⚠ 注意

下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。

○ 均一に巻かれている

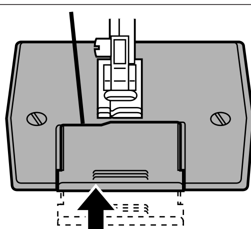
× 糸が浮いている

3



3 ボビンを指先でかるく押さえて、糸端を切りミゾに引っかけ、左から上へ持っていってください。

4



4 すべり板を奥（ ⬆ 方向）にスライドさせ、取り付けてください。

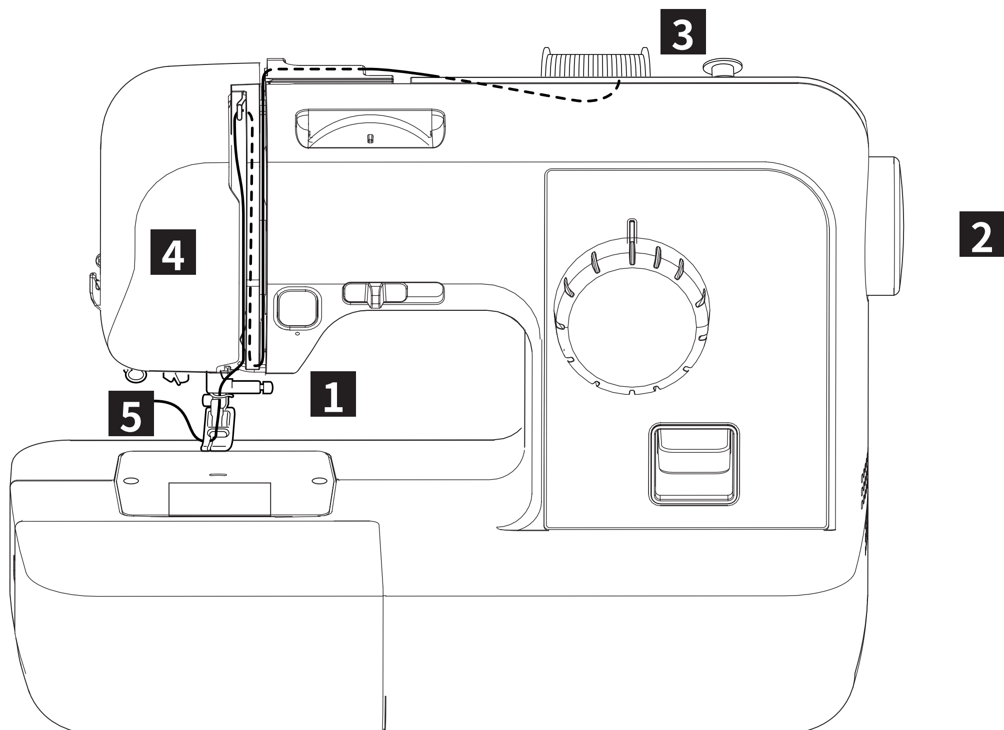
■ 上糸のかけ方

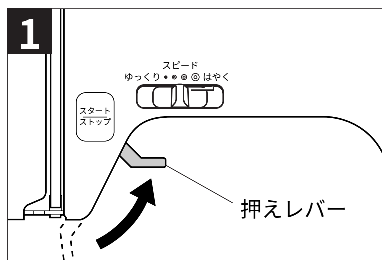
⚠ 注意



必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。

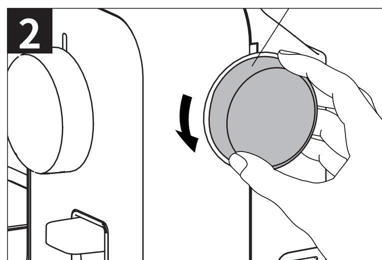
上糸通しは指示に従って正しく行ってください。糸が正しく通っていない場合、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



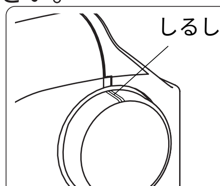


1 押えレバーを上げてください。

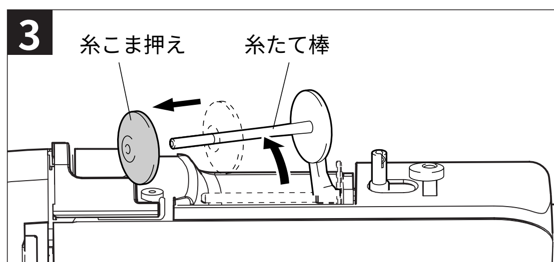
注意：押えレバーを上げて糸かけをしないと、ミシン本体内部の上糸調子機構の皿が閉じたままとなり、正しい糸かけができず、天びんに糸がからまり、故障の原因となります。

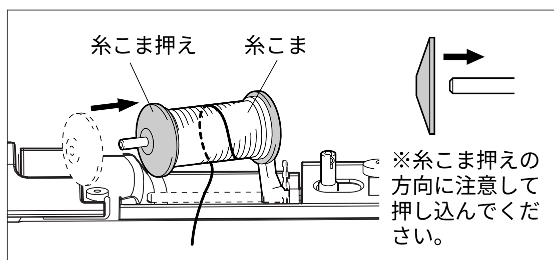


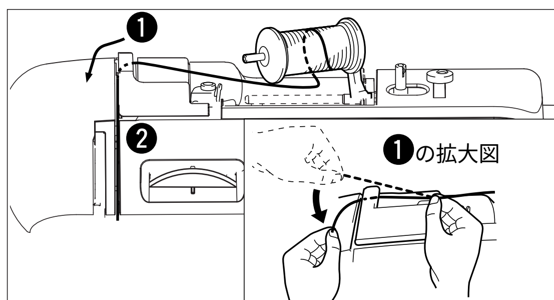
2 プーリーを手前に回して、天びんをいっぱいまで上げて、針を上げてください。



●プーリの“ しるし ”を真上の位置にした時が糸かけが出来る位置の目安になります。







3 糸たて棒を後側に出し、糸こま押えを外してください。

⚠ 注意

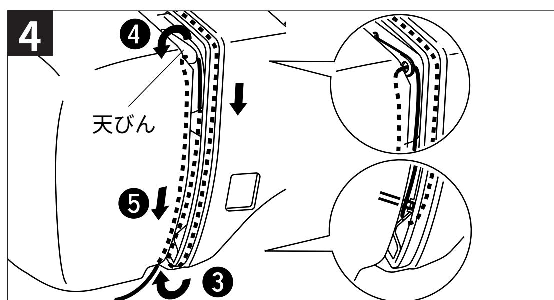
ミシンをお使いになるときは、必ず糸たて棒を後側に出した状態でご使用ください。出さずに使用すると、糸がからまり針折れの原因となります。

糸こまを糸が下から手前にくるように糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までいっぱいに押し込んでください。

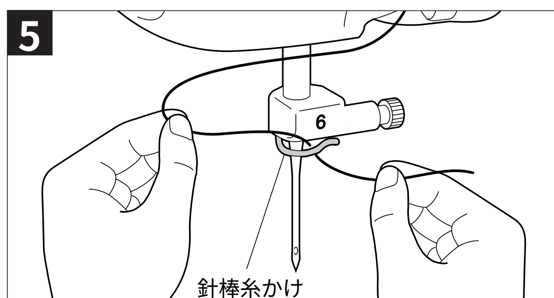
⚠ 注意

糸こまの向きや糸こま押えを正確にセットしないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
糸こま押え（大）（小）は糸こまの大きさに合わせてご使用ください。
糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

ミゾにそって、ミシン本体に表示されている番号順に糸を通してください。（❶、❷）



4 番号順に糸を通してください。（❸）
天びんに糸をかけます。天びんの右側から後ろに糸を回し、左手前に糸を運びます。（❹）
番号順に糸を通してください。（❺）



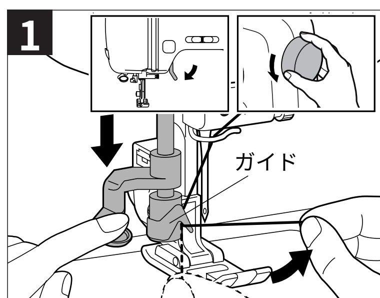
5 針棒糸かけに糸をかけます。
※左手で糸を保持し、右手で糸かけをおこなうと糸かけがしやすくなります。

■ 糸通し装置の使い方

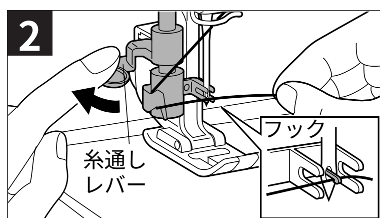
⚠ 注意

必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。

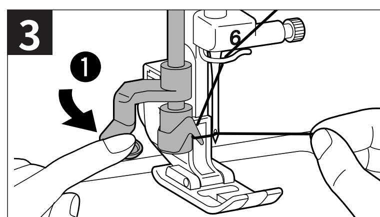
注意：糸通し装置は家庭用ミシン針（HAX1）11〜16番の範囲内でご使用ください。
針と糸の適正な組み合わせは早見表（P.2）を参照してください。



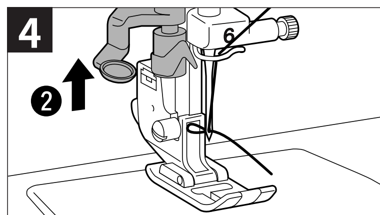
1 プーリーを回して針をもっとも高い位置に上げ、押えレバーを下げてください。上糸をガイドにかけ、糸通しレバーを人差し指で止まるまで下げてください。（糸は右側へ持っていきます）



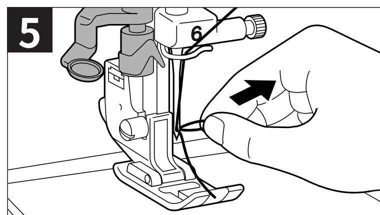
2 糸通しレバーを後ろへ回して針穴にフックを入れたあと、糸を下からすくうようにしてフックにかけてください。
※ 糸を手前に引き、フックにかかっているか確認します。



3 糸を軽く持ったまま、糸通しレバーを手前（❶）に戻した後、糸と糸通しレバーからゆっくりと手を離してください。（❷）

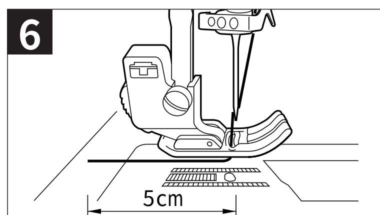


4 フックが糸を針穴に通します。



5 ループ状になった糸を後ろ側へ引っ張り、針穴から糸を引き出します。

注意：無理に引っ張って針を曲げないように注意してください。



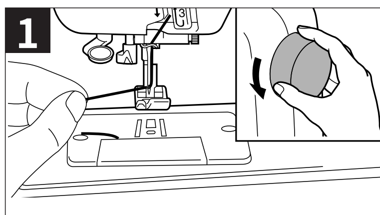
6 糸は押えの下を通してミシンの後ろ側に５cmほど引き出しておいてください。

■ 下糸の引き出し方

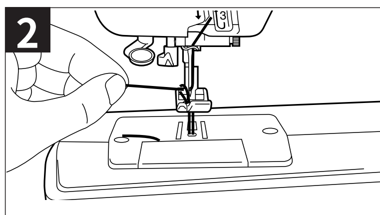
⚠ 注意



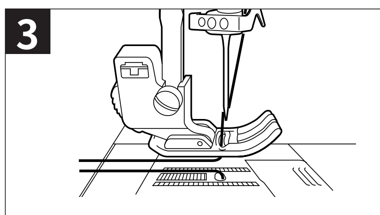
必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



1 上糸を軽く持ち、プーリーを手前にゆっくりと1回転させ、針を上げてください。



2 上糸を引き上げて、下糸を引っ張り出してください。



3 上糸・下糸を押えの下にして後ろへ出しておきます。

ぬってみましょう

■ 基本操作

⚠ 注意

ミシンの操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。

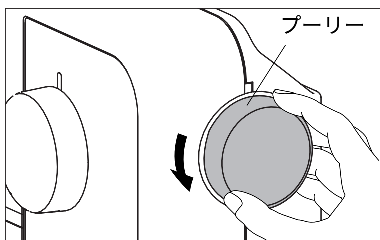
縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針折れの原因となります。

曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

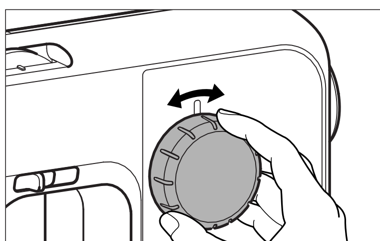
模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

ぬう際には、まち針などに針が当たらないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

必ず下糸を引き出してからぬってください。糸がからんで針折れの原因となります。



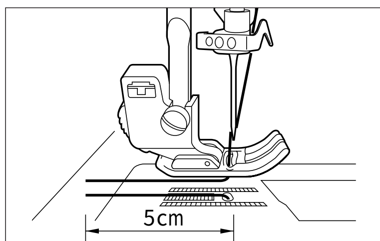
1. プーリーを回して針を上げ、押えレバーを上げてください。



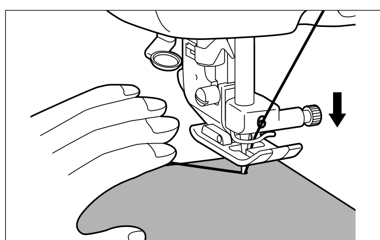
2. 模様選択ダイヤルを回して、模様を指定してください。
3. 指定した模様に合わせ、押えを付け替えてください。
（P.21「押えの付け替え方」P.2「ぬい方早見表」参照）

	b	ac	d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
模様													
押え記号	—	A	—	J	J	J	J	G	J	J	J	L	J

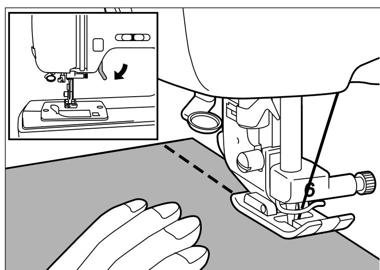
押え記号 — J



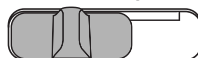
4. 下糸を引き出し、上糸と下糸をそろえて押えの下に通して後へ5cmほど引き出しておいてください。
（P.17「下糸の引き出し方」参照）



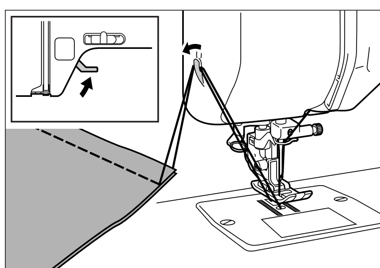
5. 布地を押えと上糸の下に入れ、糸と布地を左手で押え、右手でプーリーを回してぬい始めの位置に針をさしてください。



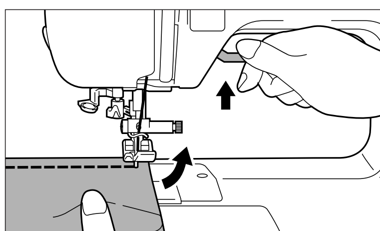
6. 押えレバーを下げてください。
7. スピードコントロールレバーでぬう速さを調節します。
※ぬっている途中でもスピードの調節はできます。



8. 電源スイッチを入れた後、手を布地にかるく添え、スタート/ストップスイッチを押し、ぬい始めます。
9. もう一度スタート/ストップスイッチを押すとミシンは止まります。
※ぬい始め、ぬい終わりに返しぬいをする時は、P.8「返しぬいの仕方」を参照してください。

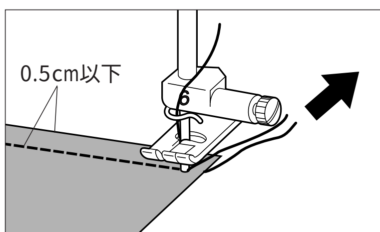


10. 針が完全に止まったら、押えレバーを上げて布地を取り出してください。
11. 上下２本の糸を面板の糸切りにかけて、下に引っ張り糸を切ってください。

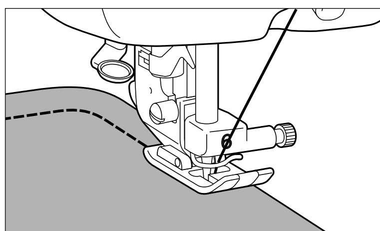


● ぬい方向を変える場合

方向を変える位置でミシンを止め、プーリーを回して針を布地にさします。押えレバーを上げ、針を軸にして布地を回し、再び押えレバーを下げてぬい始めます。

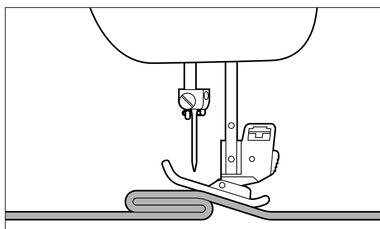


0.5cm以下のステッチをぬう場合は角部にしつけ糸をつけ、方向をかえたら糸を後ろへ引っ張りながらぬいます。



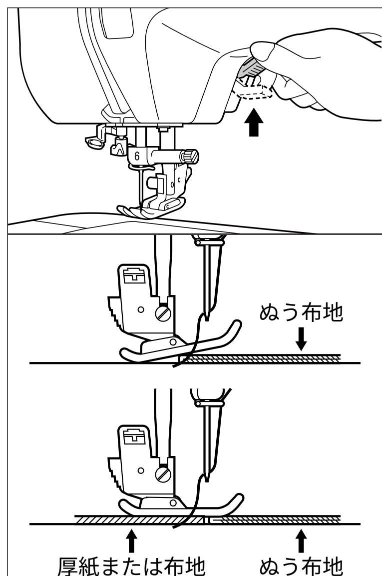
● カーブをぬう場合

ぬい目を布端と平行になるようにミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



● 段部をぬう場合

手で布送りを助けながら、布地を倒したい方向にぬいます。



● 厚地をぬう場合

縫製できる布の厚さは6mmまでです。布地の厚さに合わせて、14〜16番の針に交換してください。段をぬうときは、手で軽く補助して布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

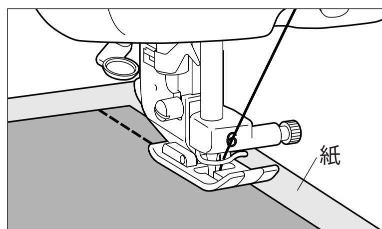
⚠ 注意



6mm以上の厚物をぬったり、無理に布地を押し込んだりすると針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

押えレバーは2段階に上がります。布地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、押えレバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。

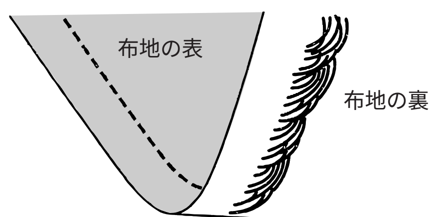
左図のように、押えが傾いて布地を送らないときは、押えの後ろに使用する布地と同じ厚さの布地または厚紙をおいてぬうと、スムーズにぬうことができます。



● 薄地をぬう場合

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下に薄い紙をしいたりしてぬうと、ぬいやすくなります。
紙はぬい終わった後でていねいに取り除いてください。

■ 布地の裏側がタオル地のようになるときは…



図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようになるときは、上糸のかけ方P.14をごらんの上、正しくかけ直してください。
また上糸調子の調節のしかたはP.21をごらんください。

■糸調子

※ 上糸調子ダイヤルの 標準 は、普通地（中厚地）をぬう場合の目安です。布や糸の種類によって糸調子は変わりますので、実際にお使いになる生地の端切れで試しぬいをして、糸調子を調節してください。

■ 上糸が弱い場合
上糸と下糸の重なりが下（裏）にできます。

裏　表

上糸調子ダイヤルを右に回します。

6 標準 4

よわく ・ • 上糸調子● ● つよく

※ 数字を大きくします。

■ 正しい糸調子
上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。

裏　表

■ 上糸が強い場合
上糸と下糸の重なりが上（表）にできます。

裏　表

上糸調子ダイヤルを左に回します。

6 標準 4

よわく ・ • 上糸調子● ● つよく

※ 数字を小さくします。

■ 押えの付け替え方

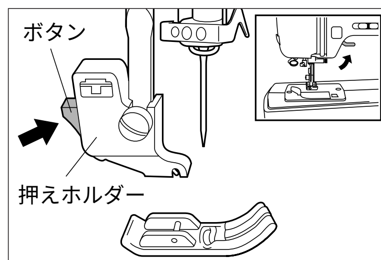
⚠ 注意



押えの交換は必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。

押えは必ず正規の部品をご使用ください。その他の部品を使用するとケガや故障の原因となります。

模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

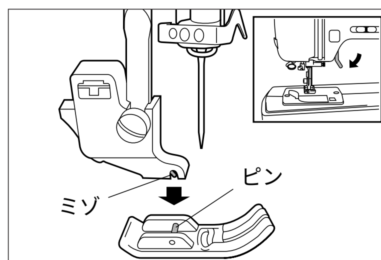


取り外し方

1. 電源スイッチを切り、プーリーを回して針を上げてください。

2. 押えレバーを上げてください。

3. 押えホルダーのボタンを押してください。



取り付け方

押えホルダーのミゾと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げてください。

※押えは各模様に適した押えを使用してください。
（P.2「ぬい方早見表」参照）

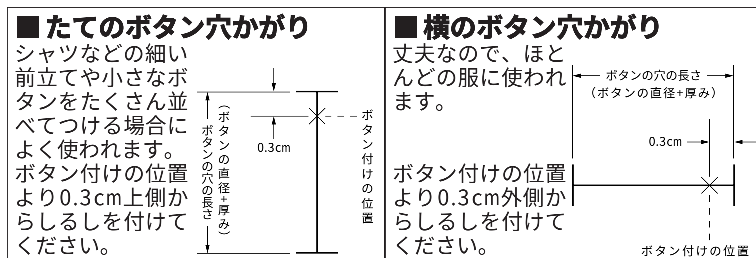
■ ボタン穴かがり押えの使い方

⚠ 注意

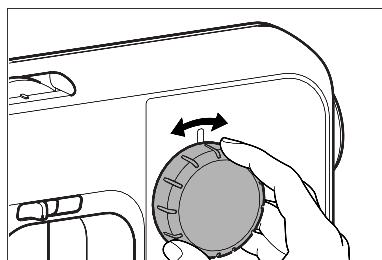


押えは前後の向きを確認して正しい向きで取り付けてください。
押えの向きを間違えますと針が押えに当たり、折れてケガをする原因となります。

※ ぬうときには、実際にお使いになる生地の端切れで試しぬいをしてからぬってください。

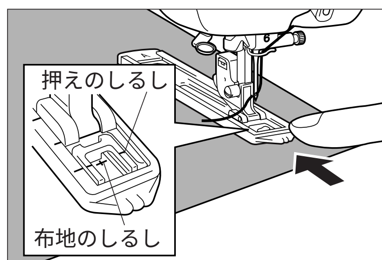


1. ボタン穴かがリをしたい位置にしるしをつけてください。

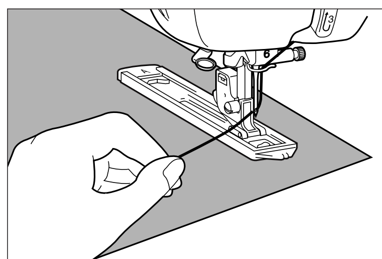


2. ボタン穴かがりは、a→b→c→dの順にぬいます。
はじめに手前側のかん止めをぬいます。模様選択ダイヤルで模様番号<ac>を指定します。





3. ボタン穴かがり押え<A>に付け替え、布地を入れ、押えを後ろいっぱいに押し、布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えレバーを下げてください。



4. 上糸をかるく持って、スタート/ストップスイッチを押してスタートしてください。

※ 布地に手をかるく添えてください。

模様番号	ぬい目
ac (c, a)	a
b	b

5. 5〜6針かん止め（a）をぬいます。針が左側へおちたときにスタート/ストップスイッチを押してストップさせてください。

6. 次に左側（b）をぬいます。模様選択ダイヤルで模様番号<b>を指定し、しるしまでぬいます。針が左側へ落ちたときにスタート/ストップスイッチを押してストップさせてください。

模様番号	ぬい目
ac	c
d	d

7. 反対側のかん止めをぬいます。模様選択ダイヤルで、もう一度模様番号<ac>を指定し、5〜6針かん止め（c）をぬいます。針が右側へおちたときにスタート/ストップスイッチを押してストップさせてください。

8. 最後に右側（d）をぬいます。模様選択ダイヤルで模様番号<d>を指定し、しるしまでぬいます。針が右側へおちたときにスタート/ストップスイッチを押してストップさせてください。
※針が反対側に落ちて、ミシンがストップした場合や、針が布にささった状態でミシンがストップした場合は、手でプーリーを手前の方向に回して、針を上に上げてください。

⚠ 注意



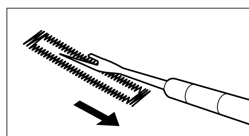
模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回してください。針が布地にささったまま、およびミシンが動いているときに回すと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

布地裏

9. 糸を少し長めに切ります。

10. ぬい目のほつれを防ぐため、上糸の端を布地の裏に引き出し、下糸と結んでおいてください。

11. かん止めの内側にまち針を打ち、ぬい目を切らないように、リッパーで切り開いてください。



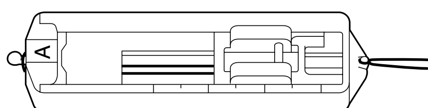
リッパーの背で切りみぞにスジをつけてからリッパーで切り開くと切りやすくなります。

⚠ 注意

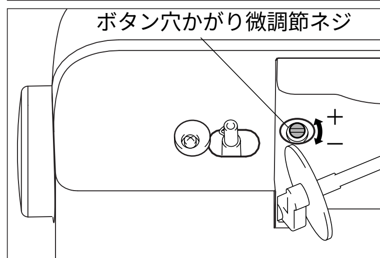


リッパーで穴を開ける方向に手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。

● のびる布地の場合



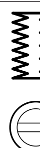
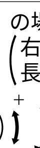
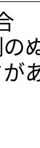
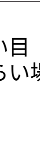
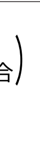
のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。
芯ひもはゆるまない程度に、手前をかるく結んでください。
ぬい方は芯ひもなしの場合と同じです。



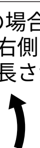
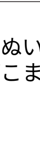
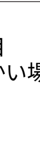
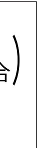
●ボタン穴かがり微調節ネジ

ボタン穴かがりの左右のぬい目長さは出荷時に調整してあります。使用される布と糸の組み合わせにより左右のぬい目長さが異なる場合がありますので、その時はボタン穴かがり微調節ネジを回して調節してください。
※ ぬい目右側のみの調節ネジです。
　左側のぬい目と比べて調節してください。

d

の場合（右側のぬい目長さがあらい場合）

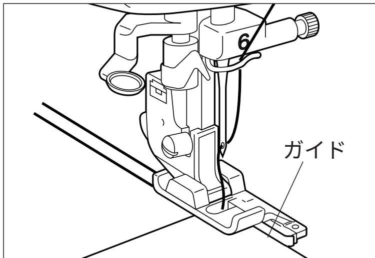

の場合（右側のぬい目長さがこまかい場合）

■ たちめかがり押えの使い方

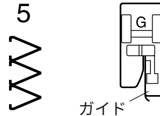
⚠ 注意



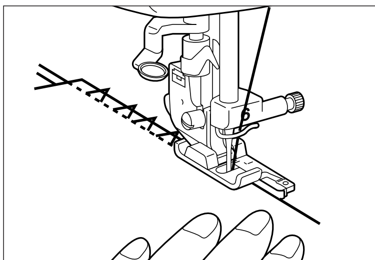
＜G＞押えを使用するときは、必ず模様番号＜5＞を使用し、プーリーを手で回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を使用しますと、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



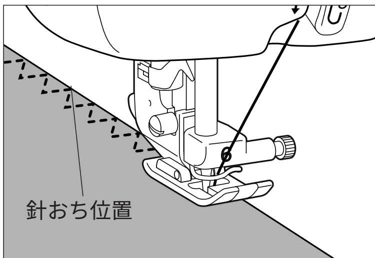
1. ＜G＞押えに付け替え、模様選択ダイヤルで模様番号＜5＞を指定します。



2. 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。

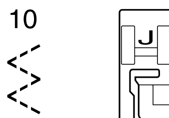


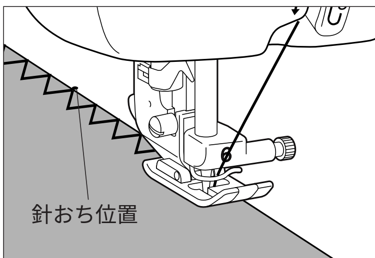
3. ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。
※ たちめかがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下（裏）に出る場合があります。



のびる布地の場合のたちめかがり

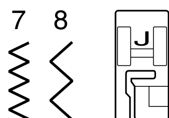
のびる布地の場合には、模様選択ダイヤルで模様番号＜10＞を指定し、押えは＜J＞押えを使用します。
針を布端よりわずかに外側に落ちるようにぬってください。





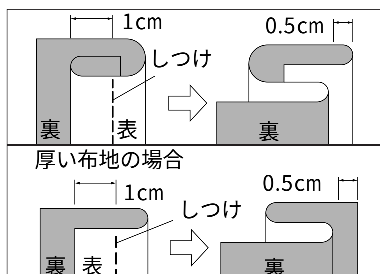
ジグザグ模様の場合のたちめかがり

たちめかがりとして広範囲に使用できます。
模様選択ダイヤルで模様番号＜7＞または＜8＞を指定し、押えは＜J＞押えを使用します。
針を布端よりわずかに外側に落ちるようにぬってください。



■ まつりぬい押え（別売）の使い方

※ まつりぬい押え<L>は、部品コード（XC1976-052）をご使用ください。

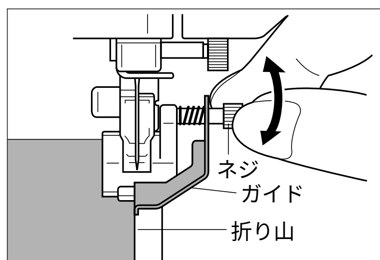


● <L>押えに付け替え、模様選択ダイヤルで模様番号<9>を指定します。



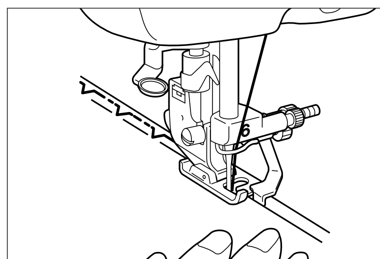
まつりぬい押え<L>
（別売）

1. 布地を左図のように折ってください。
※ しつけをしっかりしてください。



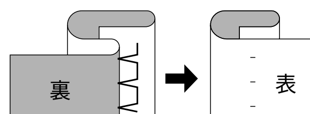
2. 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットしてください。

3. 折り山に押えのガイドを合わせてください。
※ <L>押えのネジを回して、折り山に押えのガイドがピッタリとあたるように調節してください。



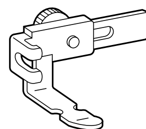
4. ぬい始めたら、折り山が押えのガイドに添うように布地に手を添えてください。

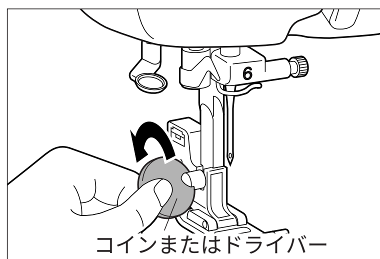
5. 表に返します。



■ 片押え（別売）の取り替え方

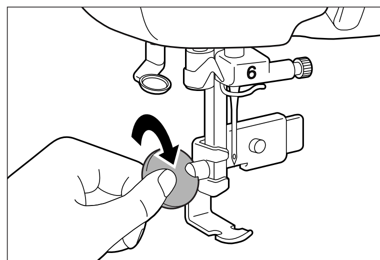
片押え<I>
（別売）





1. 電源スイッチを切り、プーリーを回して針を上にしてください。

2. 押えホルダーのネジをゆるめて外してください。



3. 押えを取り替え、ネジをしっかりとしめつけてください。

⚠ 注意



ネジは確実にしめてください。ネジのしめ方がゆるいと、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

■ 片押え（別売）の使い方

※ 片押え＜I＞は、部品コード（XC1970-002）をご使用ください。

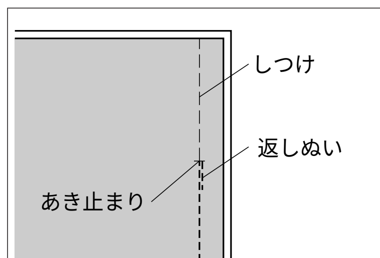
⚠ 注意



＜I＞押えを使用するときは、必ず直線（模様番号＜3＞）を使用し、プーリーを手でゆっくりと手前に回して針が押えに当らないことを確認してください。他の模様を使用しますと、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。

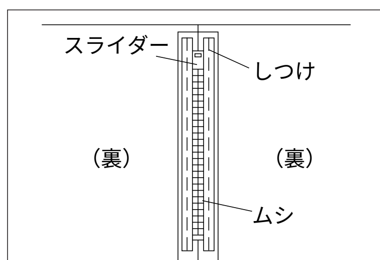


ファスナー付けの際には、ファスナーが針に当らないように注意してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

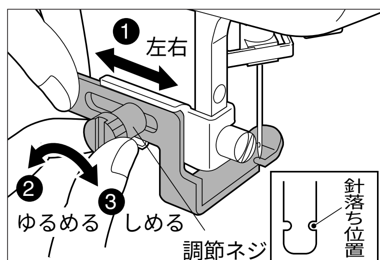


ファスナー付け（つき合わせ）

準備：＜J＞押えを取り付け、布地を中表にして（表面を合わせて）あき止りまでは地ぬいをし、あきの部分（ファスナーを取り付けるところ）にはしつけをしてください。



1. ぬいしろを割り、ぬい目のラインにファスナーのムシの中心を合わせてしつけをしてください。

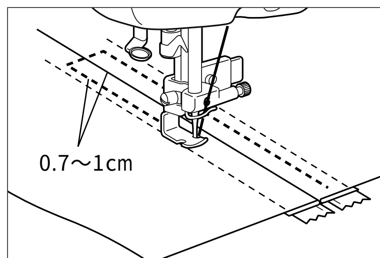


2. ＜I＞押えに付け替え、模様選択ダイヤルで模様番号＜3＞を指定します。
押えの後ろの調節ネジで針落ち位置が、押えの右側（図参照）になるように押えの位置を左右に調節してください。
（ファスナーの左側をぬうときは押えの右側に、
ファスナーの右側をぬうときは押えの左側に、
針落ち位置がくるように押えの位置を左右に調節します。）

⚠ 注意



ネジは確実にしめてください。ネジのしめ方がゆるいと、針が押えに当たり、折れたり、曲がったりするおそれがあります。



3. 表面を上にしてぬいます。
ぬい終わったら、しつけを取ってください。

ミシンを大切に

■ 針の交換

⚠ 注意

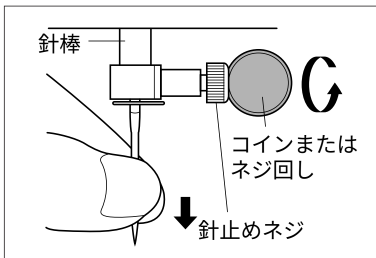


針の交換は必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート／ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

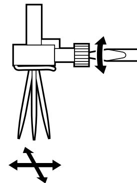
針は必ず家庭用ミシン針（HA×1）をご使用ください。その他の針を使用しますと針折れや故障の原因となります。

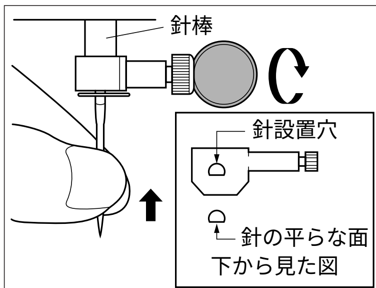


1. 電源スイッチを切り、針を上げ、押えレバーを下げてください。

2. 針止めネジを手前に回してゆるめて、針を抜いてください。

注意：針止めネジをゆるめたり，しめたりするときは、針棒に前後・左右に大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



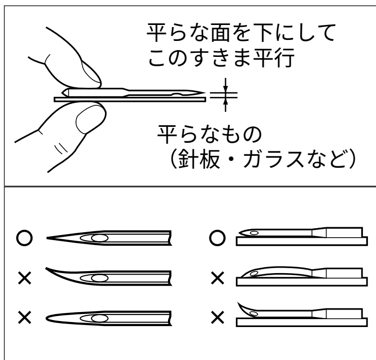


3. 新しい針の平らな面を後ろ側に向けてストッパーに当たるまで差し込み、針止めネジをしっかりとしめてください。

⚠ 注意



針は必ずストッパーに当るまで差し込み、止めネジをコインまたはネジ回しで確実にしめてください。針が十分に差し込まれていなかったり、ネジのしめ方がゆるいと針折れや故障の原因となります。



正しい針の見分け方

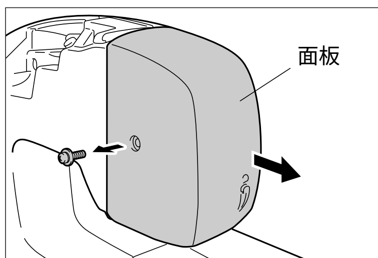
平らな物（針板、ガラス板など）に針の平らな面を合わせ、すきまが平行である針をご使用ください。
針先が曲がったり、つぶれているものは使用しないでください。
針は家庭用ミシン針（HA×1）をご使用ください。

■ ランプの交換

⚠ 注意

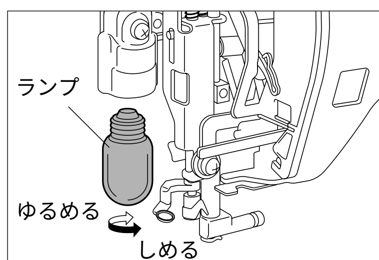



必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。
ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が冷えてから行ってください。
やけどの原因となります。



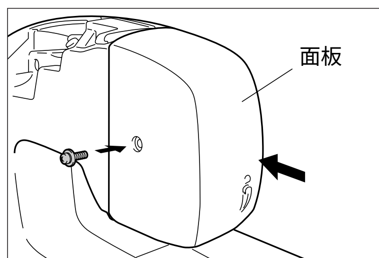
1. 電源スイッチを切ってください。

2. ミシンの裏側にあるネジをドライバーで外した後、面板を外してください。



3. ランプを矢印の方向に回して外し、新しいランプを取り付けてください。

注記：ランプは必ず専用のものをご使用ください。
他のランプは絶対に使用しないでください。
専用ランプ（100V,6W）は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。（部品コードXA7713-050）



4. 面板を取り付け、ネジをドライバーでしっかりとしめてください。

■ お手入れ
● 本体表面の汚れの掃除

⚠ 注意



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケガまたは感電の原因となります。

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布地に浸し、固くしぼってふきとってください。
汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

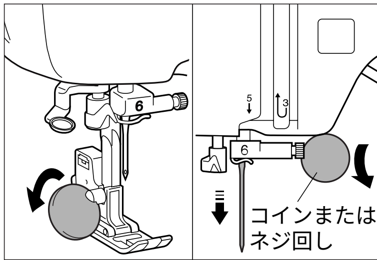
注意：ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
　　　変色や変形の原因となります。

● かまの掃除
ほこりがたまると縫製不良になる場合があります。
いつもきれいにしておきましょう。

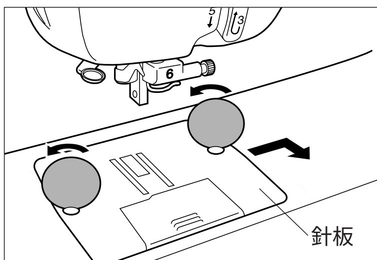
⚠ 注意



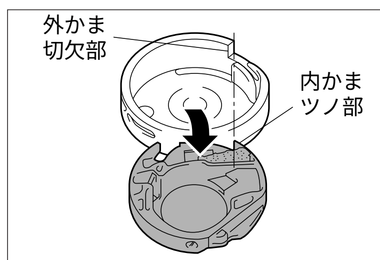
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケガまたは感電の原因となります。



1. 電源スイッチを切り、ネジをゆるめて押えホルダーと針を外してください。

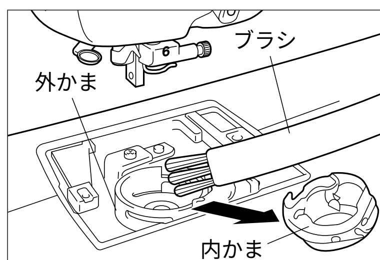


2. ネジをゆるめて針板を外してください。

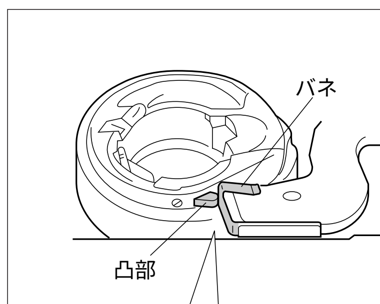


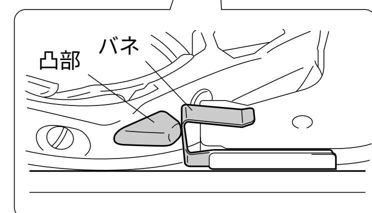
3. プーリーを手前に回し、外かま切欠部と内かま角部の位置を合わせて内かまを取り外してください。

注意：プーリーは必ず手前に回してください。反対の方向に回すと、故障の原因となります。



4. 付属のブラシや掃除機で外かまとその周辺の糸くずを取り除いてください。
※内かまには油をささないでください。





5. 内かまを外したときと同じ位置に外かま切欠部がきていることを確認し、内かまの凸部とバネを合わせて内かまを取り付けてください。

⚠ 注意



傷がついた内かまは使用しないでください。
万一、使用しますと上糸がからみ、製縫不良や針折れの原因となります。



内かまは必ず正しい位置に取り付けてください。
針折れの原因となります。

※内かまは最寄りのブラザー販売店でお求めください。
（部品コード：XC0066-051）

6. 針板を手前側からはめて、ネジをしっかりしめてください。

7. 押えホルダーを付け直す場合は、押え＜J＞を先に押えホルダーにセットし、押えレバーを下げた状態で押えホルダーのネジを確実にしめます。

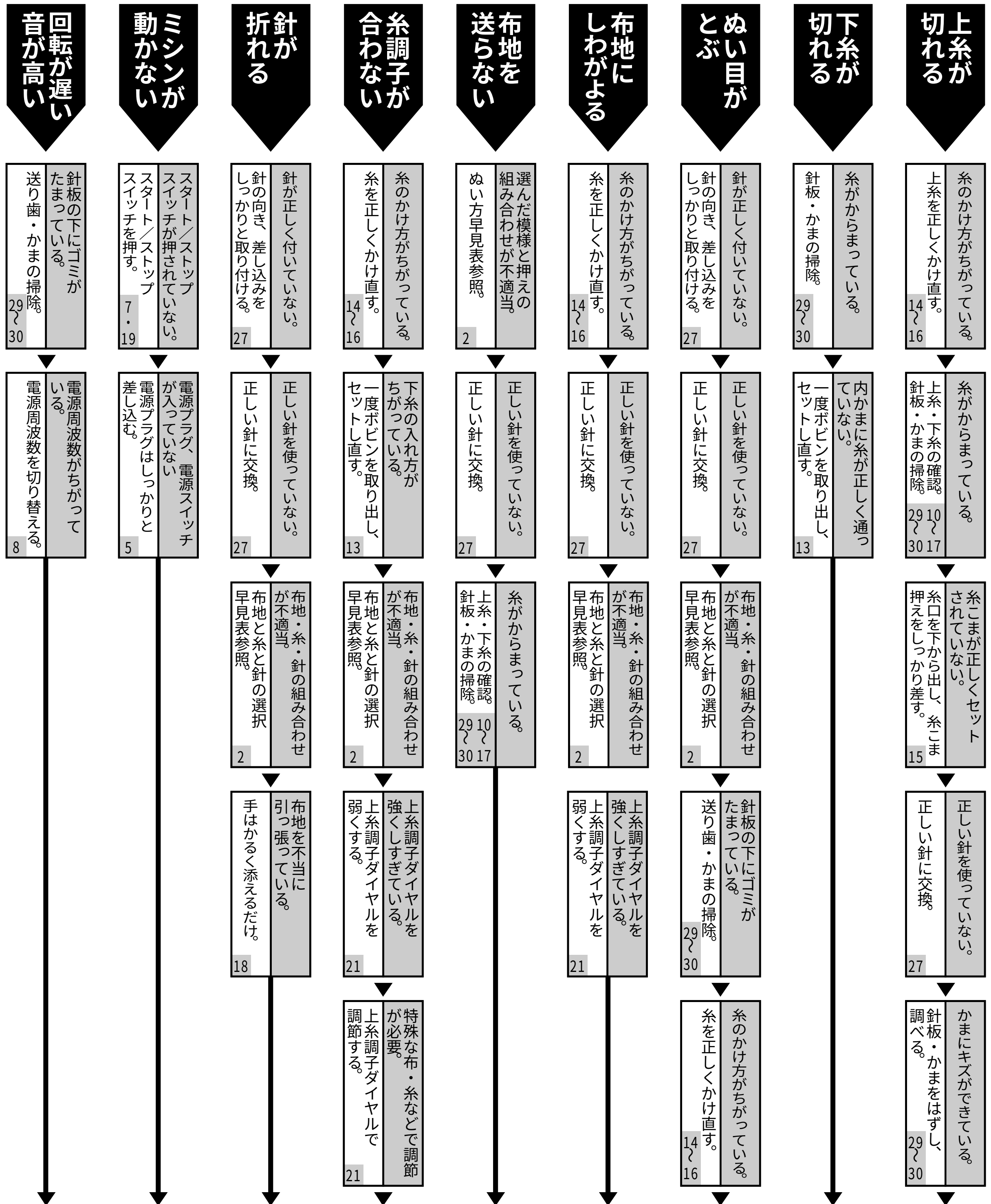
⚠ 注意



ネジは確実にしめてください。ネジのしめ方がゆるいと、針が針板や押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

■ トラブルチェック

**※ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。
左下の数字はページ数です。**



● 修理を依頼される前に上記のトラブルチェックに従って点検していただき、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店、最寄りのブラザー販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にお申し付けください。

注意：運転中に停電が発生した場合

- 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
- 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

ミシン119番　フリーダイヤル0120-340-233

●ブラザーミシンの使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番までお問い合わせください。

●ミシン119番ではミシンの使い方や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただいております。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社

本　社	お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL:(052)824-3125
北海道	お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL:(011)261-6631
東　北	お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
東　京	お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL:(03)3281-4204
中　部	お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL:(052)824-3193
関　西	お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL:(06)6531-4670
中四国	お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL:(082)240-3762
九　州	お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL:(092)431-6566

●ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の最寄りの「お客様相談室」へご連絡ください。

●最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が負担致します。

●FAXの場合は、すべて本社お客様相談室(052)824-3031でお受け致します。

●上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

保証とアフターサービスについて

- ご購入時の年月日を確認するため、お買い上げの際のレシートまたは送り状を、本保証書と一緒に大切に保管してください。
- 無料保証期間は、お買い上げ日より１年間です。（詳しく保証書をご覧ください。）それ以後の修理については、お買い上げの販売店、最寄りのブラザー販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低８年間保有しています。
  ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または裏面の［お客様相談室］へお問い合せください。
- 機械番号の記載の無い保証書については、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

保 証 書

機種名	機械番号	保 証 期 間（お買い上げ日より）
EL115		ミシン本体 1年 電子メイン基板 2年

お 買 い 上 げ 日	平成　　年　　月　　日

お客様	ご 住 所　〒 お 名 前　　様 電 話　（　　）	販売店	住 所　〒 店 名 電 話　（　　）　印

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参ご提示の上、お買上げ販売店に依頼してください。
3．ご転居の場合は事前にお買上げ販売店、或いは、転居先、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
4．ご贈答等で、本保証書に記入してあるお買上げ店に修理がご依頼できない場合には、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。但しこの場合の費用は別に定める必要部品代と技術サービス費（出張料及び修理工料）の合計額になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買上げ後の移動、輸送、落下による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
（ホ）特別なご依頼により各部点検及び分解掃除などをしたとき
（ヘ）本書の提示がない場合
（ト）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合 或いは、字句を書き換えられた場合
（チ）消耗部品（ミシン針、ミシン電球、乾電池等）の損傷及び消耗
（リ）周波数切替に要する技術サービス費
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は取扱説明書に記載の「お客様相談室」へお問い合せください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

ブラザー工業株式会社　〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1号

112-115
XC6697-021
0312①